



## 複言語人材の育成の実践が 教育現場に新たな可能性を切り拓く

教授 **金銀珠**  
キム ウンジュ

- 研究分野：日韓対照言語学 日本語教育 韓国語教育 複言語教育 反転授業 生涯教育 日韓文化比較研究 韓国コンテンツ産業研究
- 研究キーワード：日本語 韓国語 複言語 反転授業 ICT 生涯学習 eスポーツ ウェブトゥーン K-POP 韓国ドラマ、日韓文化比較、韓国コンテンツ

### 研究内容

私の研究は、言語、文化、コンテンツの3つの領域を横断し、学習者がグローバル社会の多様性に柔軟に適応できる力を育むことを目的としています。特に、ICTを活用した反転授業形式を基盤とする複言語教育の研究に力を入れています。

現代社会では、多様な言語や文化を持つ人々が共生しており、調和を保ちながら共存するためには柔軟な適応力が不可欠です。その中で、複言語教育は、単なる言語スキルの向上だけでなく、多様な視点を理解し、柔軟な思考力を養う教育手法として注目されています。その教育効果を最大化するためには、反転授業の導入が特に効果的です。

反転授業では、学生が事前にオンラインで基礎知識を学び、授業中は応用的な活動やディスカッションに集中できます。このような学習環境をさらに充実させるために、Kahoot!やPoll Everywhereなどのデジタルツールを活用すれば、インタラクティブな学びを通じて主体性を高め、学びの質向上が期待されます。また、オンライン授業やICTを活用することで、時間や場所の制約を超えた柔軟な学びの機会を提供するだけでなく、異文化や多様な価値観を共有する場を創出し、多様性への理解を深めることも可能です。

本研究では、これらの教育手法が学習者の主体性、学びの質、多様な視点の理解にどのような影響を与えるかを検証します。その成果をもとに、グローバル社会で求められる柔軟な対応力と持続的な自己成長を促す教育モデルを提案し、教育現場に新たな可能性を切り開くことを目指します。

### 研究の意義

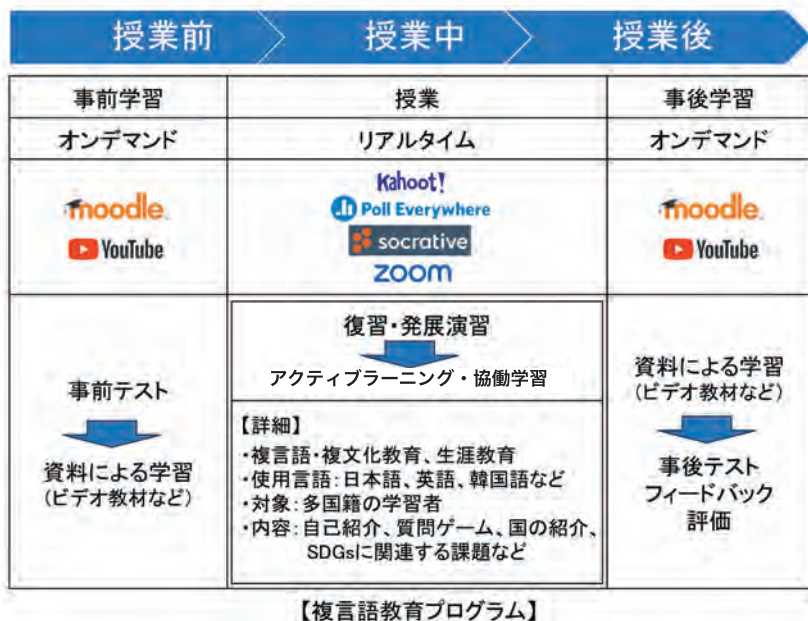
本研究では、学習者の主体性や柔軟な適応力、多様な視点を育む教育環境を構築し、グローバル社会で求められる持続可能な学びのモデルを提示することで、教育改革に向けた具体的な指針を示すことを目指します。

### 地域社会へのアピールポイント

本研究は、異文化理解を深め、多様性を尊重する地域社会の実現を目指すものです。複言語教育を通じて、地域の人々が異なる文化的背景を理解し、協力し合う力を育む環境を提供します。その一環として、オンライン形式を基盤とした学習プログラムを構築し、世代や国境を超えた学びの場を広げます。このプログラムは、高齢者や多忙な社会人にも開かれており、多様な背景を持つ人々の学びを支えます。また、他地域や他国とのオンライン交流を取り入れることで、外部の視点を共有し、地域内外のつながりを強化します。こうした取り組みにより、多文化共生の価値が地域全体に広がり、調和の取れた持続可能な社会を実現することができます。

### 今後の展望

本研究をさらに発展させるにあたり、複言語教育の効果を多角的に検証することを目指します。具体的には、異なる教育的背景を持つ学習者グループ間の比較を通じて、学習成果の違いや共通点を明らかにし、幅広い学習者ニーズに対応可能な教育モデルの構築を図ります。また、学習者の動機づけや成果に影響を与える要因を探り、個別の課題を考慮した教育設計の方向性を提案します。さらに、複言語教育が相互理解や社会的・文化的能力の向上にどのように寄与するかを考察し、教育現場での実践的応用可能性を検証します。これらを通じて、単なる言語習得を超えた、包括的かつ持続可能な複言語教育の枠組みを提示することを目指します。



### 社会実装の可能性

デジタルツールを活用した反転授業形式の複言語教育は、世界各国の教育機関やオンライン学習環境で導入可能であり、学習者がグローバル社会に必要なスキルを育むための持続可能な教育モデルとして期待できます。